

チャリティーコンサート

第1回『赤いカンナの花』音楽会

～被爆樹木から生まれた弦楽器の響き。平和へのメッセージ～

被爆樹木を素材に使用して製作された弦楽器ヴァイオリン・ヴィオラ・チェロは、原爆によって亡くなられた方々の慰霊と被爆体験の継承活動に役立てる目的で生まれました。音色が被爆された皆様の心の癒しになり、忘れてはならない過去の悲惨な歴史を音楽の力で側面から伝え、継承し風化させない活動をしてまいります。

時が経れば朽ちていく被爆樹木が楽器として転生し、概ね300年*の命を与えられました。(※ヴァイオリンの寿命は300～400年、優れたものだと1,000年以上と考えられています。)

また、震災と天災では大きな違いがありますが、多くの方々が被害に遭われ犠牲となった点は、共通点があります。東日本大震災を始め各地で毎年のように発災する自然災害の被災地に音楽を届ける活動にも活用し音楽で被災地に寄り添ってまいります。

被爆樹木は爆心地から約370m地点にあるシダレヤナギで、2017年12月の養生作業の際に一部伐採したものです。埋葬地樹木は2018年4月に広島市南区似島の原爆死没者御遺骨発掘作業の際に発掘地のエゴノキを伐採したものです。両樹木とも当初より楽器製作という目的で採取されたものです。

『赤いカンナの花』のいわれ

平和の花・カンナ～「75年間は草木も生えない」と言われた広島でその年の秋、新しい命が芽吹きました。生命の気配さえ失われた大地に緑がよみがえったのです。新しい命から人々を取り戻したのは、生きる勇気と希望でした。廃墟の中、流布されていたうわさに反し、芽吹いた緑、花々の彩りは、復興に向けて立ち上がった多くの人たちの心を励ましてきました。

2022.2.27[sun] 東広島芸術ホールくらら大ホール

開場 13:30 開演 14:00(終演予定 16:00) (東広島市西条栄町7番19号)

program

【第1部(30分)】 講演会:被爆樹木から生まれた楽器のお話し
講師:広島大学研究員 嘉陽 礼文氏

【第2部(70分)】 弦楽トリオによるアンサンブル演奏会
《プレイヤー》 Vn 小川 有紀子
Va 高旗 健次
Vc 森 純子

◆広島大学大学院
音楽文化教育学領域学生と合奏(1曲)

♪コダーイ:
弦楽トリオのためのインテルメッツォ

♪モーツァルト:
きらきら星変奏曲

♪ドヴォルザーク:
弦楽五重奏第二番 他



Vn: 小川 有紀子



Va: 高旗 健次



Vc: 森 純子

■料金:2,000円 全席自由

■チケットのお求めは、下記のお電話もしくはE-Mailでご連絡ください。

〈お電話〉

●「赤いカンナの花」音楽会窓口:担当 日下(クサカ)

TEL.090-1629-7631

●(株)ハナミズキ音楽事務所

TEL.070-2644-6015

※都合により不在の場合、必ずかけ直しさせていただきます。

〈E-Mail〉hanamizuki@ac.cyberhome.ne.jp

※お申し込みの方の「お名前」と枚数をお伝えください。



主催
株式会社 ハナミズキ音楽事務所
共催

広島大学

ご協賛
広島八谷建設株式会社
防音工事 高橋建設株式会社

お問い合わせは



ハナミズキ音楽事務所

〒981-0915 宮城県仙台市青葉区通町1-7-24-2801
TEL.070-2644-6015 [ハナミズキ音楽事務所](#) [検索](#)